

令和7年度 事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名(単位)	目標値	実績値	中長期的方向性
1	契約・法務課	情報公開・個人情報保護事務	情報公開制度:市民等の情報の公開を求める権利を保障する。 個人情報保護制度:市民等の保有個人情報の開示等請求の権利を保障する。	①情報公開制度に基づく公開請求等の公開 ②個人情報保護制度に基づく保有個人情報の開示 ③情報公開・個人情報保護審査会及び情報公開・個人情報保護運営審議会の開催 ④審議会等の会議の公開	6,004	情報公開の請求・申出件数(件)	75	171	継続
						公開された会議に係る傍聴者数(人)	35	42	
						公開された情報に対する不服申し立て件数(件)	0	0	
2	経営戦略室	政策推進事務	全庁的な課題に向けた事業等の事務局として、各担当課と連携しながら課題解決に向け取り組む。また、新たな行政課題に対応し、事務の効率化を図るため、県や関係市町村との連携を強化し広域行政を円滑に推進する。	【「オールふじみ野」未来政策会議】市民会議のメンバーや尚美学園大学の学生と令和元年11月から令和6年10月までに取材した23店舗の内容を取りまとめて「総集編vol.2」を発行した。 【指定管理者制度】より良い提案を受けるべく事務局として、選定対象施設の仕様書等の見直しを行った。 【BPRの推進】今後のBPRの推進や組織の検討などに活かすため、全庁業務量調査を行った。	41,238	公共サービス民間活力導入件数(件)	65	65	継続
						各課における業務フロー作成数(累計)(件)	50	50	
3	経営戦略室	行政評価推進事業	行政評価を実施し、計画に掲げている成果指標などで進捗状況を計ることにより最上位計画の確実な推進を図る。また、効率的で質の高い行政の実現、成果重視の行政の推進、市民に対する説明責任の履行を果たし、ひいては、市民サービスの質の向上に繋げる。	①内部評価の実施:事務事業評価では、指標の目標達成度や成果等の評価を行い、今後の具体的な方向性を示した。また、施策評価では、施策を構成する事務事業を基に、施策目標を達成するために有効な取り組みや事業などを振り返り、今後の方向性を示した。これらの評価を基に、課題を洗い出し、PDCAサイクルを活用しながら、目標設定を行った。 ②外部評価の実施:①で実施した評価の客観性及び透明性の確保を目的に外部評価委員会を実施し、行政評価に対して市民等の外部の視点を導入しながら、将来構想の進捗管理を行った。なお、後期基本計画がスタートしたことから、前期基本計画実施施策の総括や第2期総合戦略の効果検証報告、後期基本計画及び第3期総合戦略の概要及び令和7年度以降の外部評価の実施方法の説明を行った。	10,745	各年度の目標を達成した施策指標の割合(%)	100	54.2	継続
4	経営戦略室	20周年記念事業	令和7年10月にふじみ野市が誕生して20周年を迎えることから、市民等が一体となって20周年の節目をお祝いすることで、市への愛着の醸成を図る。	①市誕生20周年記念公演「第九」コンサートを行った。 ②キャッチフレーズ、シンボルマーク、啓発品を活用し、20周年を市全体でお祝いした。 ③庁内各課と調整し、市主催事業及び共催事業等を行った。 ④20周年記念式典を行った。 ⑤ふじみ野市史の編さんを刊行し、経営戦略室や社会教育課、上福岡歴史民俗資料館等で販売した。	26,069	市史編さんの進捗率(%)	100	100	完了
						20周年記念事業(市誕生20周年記念公演等の準備の進捗率)(%)	100	100	
5	情報・統計課	ICT管理運営事務	・全庁的な情報システムの適正な管理及び運営 ・全庁的な情報化の推進及び支援 ・情報セキュリティ対策 ・職員のICTスキルの向上	①DX推進方針に基づき、行政手続きのオンライン化、情報システムの標準化・共通化等の各施策を推進した。 ②専門知識を有する外部人材にCIO補佐業務を委託し、DX推進体制の強化を図った。 ③自治体Wi-Fiサービスの適切な運用を図った。 ④事務効率化のため、RPA、AI-OCR、音声テキスト化等のシステムを活用を推進した。 ⑤庁内DXの推進のため、チャットツール、生成AI、電子申請システムの活用を推進した。	83,387	市民手続の電子申請可能手続数(件)	600	1,070	継続
						情報セキュリティ事故数(件)	0	0	
						ふじみ野市デジタル戦略計画(2026-2031)記載事業の実施率(%)	-	-	